

2024年度（令和6年度）総会議事録

日時：2024年12月18日（水）14時

場所：がんこ宝塚苑

会員総数：31名 出席：22名 オブザーバー：1名

欠席者：9名（委任状提出：3名）

これにより、3分の2以上の出席にて成立した。

本会議の議長として田口委員が推薦され、会員一致で選出された。

1. 柴会長挨拶
2. 小山総務補佐より、チーム成績個人成績表、各行事出席者名簿、会員動向（入会退会）の報告が行われた。
3. 藤井審判責任者より、審判活動の報告があり、公式戦の派遣審判、並びの交流戦、練習試合の球審、累進等を含め、延べ50試合以上に多くの協力をいただいた事への労いと感謝の言葉があった。
4. 金岡理事長より、宝塚スポーツ協会関連事業の報告があり、宝塚市と持ちつ持たれつ
の関係を維持するよう、協力依頼があった。
加えて次回の松江市とのスポーツ交流会の実行委員会設定の提案があった。
5. 小山総務補佐より、グリーンスター運営活動の報告の後、還暦チーム運営に伴う採決を行った。
 - ① 森本主将により、チームホームページの運営管理について、現在担当の青木委員から総務に移行する提案があり、可決された。
 - ② 小山総務補佐より、LINEによる練習&試合の出欠ルーム活用徹底の提案があり、山本委員の意見を踏まえ、個人的に指導するなど、利用を促す事となった。
 - ③ 小山総務補佐より、総務負担軽減のために総会資料の簡略化を提案し、可決された。
 - ④ 渡邊総務より、バッティング練習の効率化のために2箇所を増やし、できるだけノック等の時間を割愛しないようにしてはどうかとの提案があった。
 - ⑤ 高原コーチより、山本コーチ所有のバッティングマシンを借りてマシン2台での練習提案があった。
 - ⑥ 森本主将より、9番倉庫の掃除、整理の提案があり、個人の所有物は持ち帰る事と提案があった。
 - ⑦ 松岡氏より、バッティングマシンのメンテナンスの要望があった。
 - ⑧ バッティングマシンのメンテナンス、練習方法、道具の管理についてはシーズンが始まるまでに方向性を決めて行う事となった。

- ⑨ 森本主将より、チーム所有のキャッチャー防具について数量等の質問があり、現在は3セット有り、加えてチーム用マスク、ミットを用意することになり、そのうち柳川新監督がミットの寄付を申し出た。
- ⑩ 柳川新監督より、2月の練習時にトレーニングウェアの着用を認めてほしいと希望する意見があるとの発言があった。
対して、高原コーチより、2月はシーズン直前であり、ユニフォームの方が好ましいとの意見があり、2月のトレーニングウェア着用は却下された。
- ⑪ 各種意見・提案を踏まえて、練習方法は監督、コーチに一任する事となった。
- ⑫ 森本主将より、グラウンド準備を含め、練習時間開始についての質問があり、意見交換の結果、集合時間を含め、現状維持となった。

6. 田口会計より、2024年度（令和6年度）収支決算報告が行われた。

7. 会計監査報告は、監査役の久保氏、水野氏が欠席のため、監査当日に立ち会った渡邊総務により監査は適正に行われた事が報告された。

8. 山本監督より、2024年度の功労賞（MVP）の発表があり、小山氏が選出された。

9. 金岡理事長より、2025年度の役員理事の案が提案され、全会一致で可決された。
新たに理事に就任する会員は以下のとおり。

光安 保（副理事長）、阿層一志（渉外担当）、柳川盛彦（監督）、小山 仁（スコアラーチーフ）、嶋田圭一（道具係チーフ）、藤井穰（道具係）、中条一彦（道具係）

10. 柳川新監督より、2025年度活動報告が行われた。

- ・ 部員、審判、対戦チームへの暴言誹謗中傷は心にとどめ、口外は厳禁とする。
 - ・ 前向きな指摘は必要。
 - ・ 今季（2024年度）の試合を振り返り、得失点差をプラスの方向へ持って行く事。
 - ・ 普通にできる事を普通に実行し、シーンによるメンタル面も考慮し、考えながら練習をする事。
- 等、来季への熱意を感じる所信表明があった。

11. 田口会計より、来季の会費について報告があり、古希・還暦チームの練習日数が同数になった為、2025年度は古希・還暦両方所属の部員は各チームに7,500円ずつ収める事となった。

引き続き、田口会計より来年度予算の報告があり、2025年度会計収支計画は全会一致で可決された。

以上をもって、本総会の議事は全て終了し、議長は解任され閉会となった。

最後に金岡理事長より、皆が其々モチベーションを上げて団結し、チーム力をあげて頑張ろうとの挨拶があった。